

令和4年度学校保健委員会



令和4年8月25日
石神井東小学校

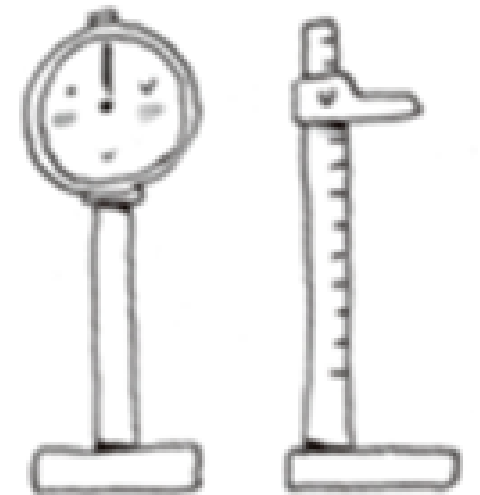
I 定期健康診断結果より

1 身体測定結果（練馬区との比較）

区 分		身長 (cm)			体重 (kg)		
		練馬区	本校	差	練馬区	本校	差
男	1年	116.8	117.2	0.4	21.6	21.7	0.1
	2年	122.9	123.5	0.6	24.3	25.6	1.3
	3年	128.7	129.6	0.9	27.6	28.4	0.8
	4年	134.0	135.3	1.3	30.9	33.1	2.2
	5年	139.6	139.2	▼ -0.4	34.7	35.4	0.7
	6年	146.2	145.0	▼ -1.2	39.4	39.1	▼ -0.3
女	1年	115.9	117.1	1.2	21.1	21.6	0.5
	2年	122.0	120.9	▼ -1.1	23.9	22.7	▼ -1.2
	3年	128.0	129.3	1.3	26.8	29.0	2.2
	4年	134.2	134.2	0.0	30.4	29.2	▼ -1.2
	5年	141.0	141.2	0.2	34.7	34.0	▼ -0.7
	6年	147.4	146.1	▼ -1.3	39.5	38.4	▼ -1.1

*練馬区の値は、令和3年度のもの

▼は、練馬区平均より下まわっている



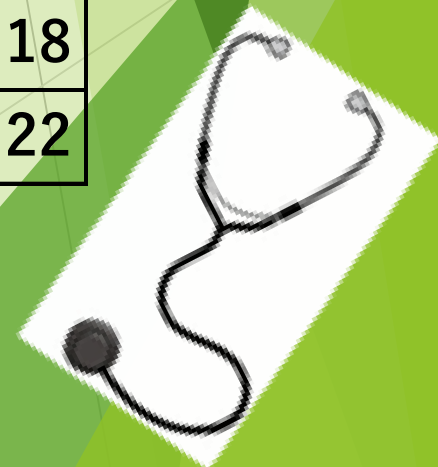
2 内科検診

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
結核検診精密検査対象者	0	0	0	0	0	0	0
心臓検診二次・精密検査対象者	3	0	1	0	0	0	4
腎臓検診二次検査対象者	4	1	0	2	1	2	10
脊柱側わん症検診対象者	0	0	0	0	0	0	0
四肢の状態 *	0	0	0	0	0	0	0
生活習慣病検査対象者 **	1	1	0	1	2	3	8
★アトピー性皮膚炎 ***	9	5	3	2	3	4	26
★気管支ぜんそく ***	5	1	3	4	2	3	18
★食物アレルギー（給食対応）	5	5	4	4	1	3	22

▶ ★アレルギー疾患が多い。（全児童数 406名）

▶ *保健調査票で保護者にチェックされた子を校医が確認。 **肥満度40%以上

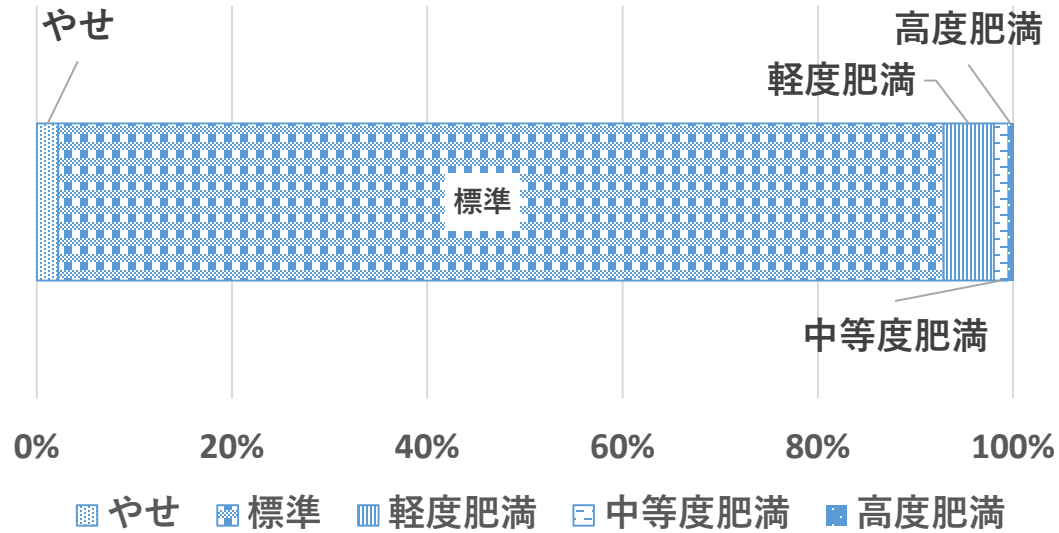
▶ ***1年以内に症状が出たもの（保健調査票より）



3 肥満傾向

* 肥満度 (%) = (体重 - 標準体重) ÷ 標準体重 × 100

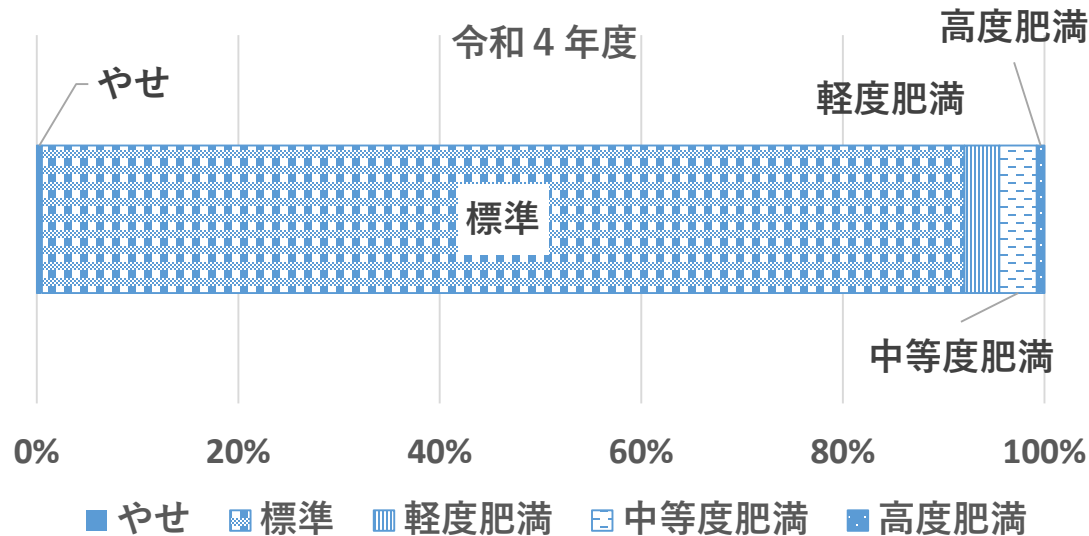
令和元年度



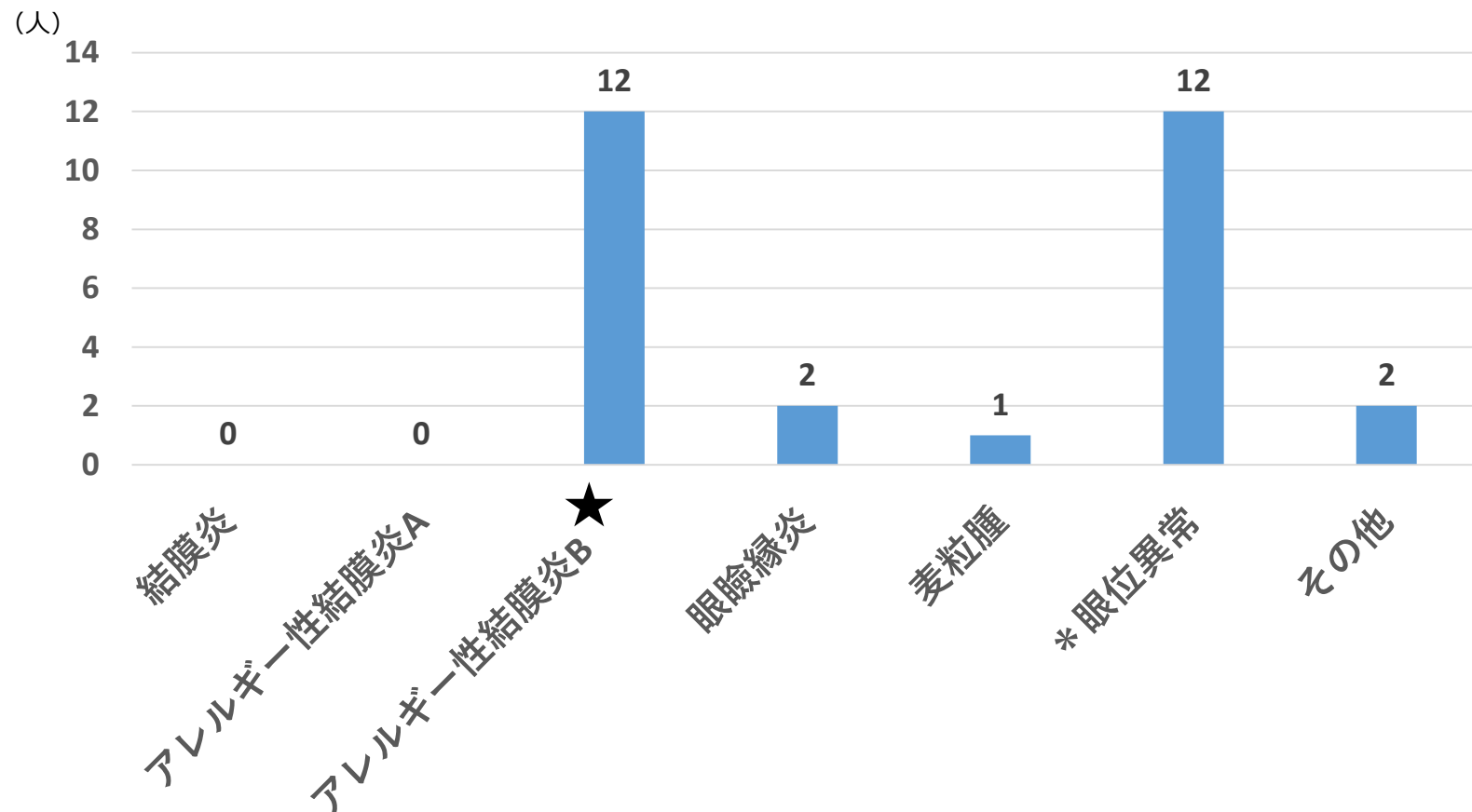
- やせ： -20%以下
- 標準： -19.9~+19.9%
- 軽度肥満： +20~+29.9%
- 中等度肥満： +30~+49.9%
- 高度肥満： +50%以上

令和元年度（コロナ前）と比較すると
中等度以上の肥満がわずかに増加。

令和4年度

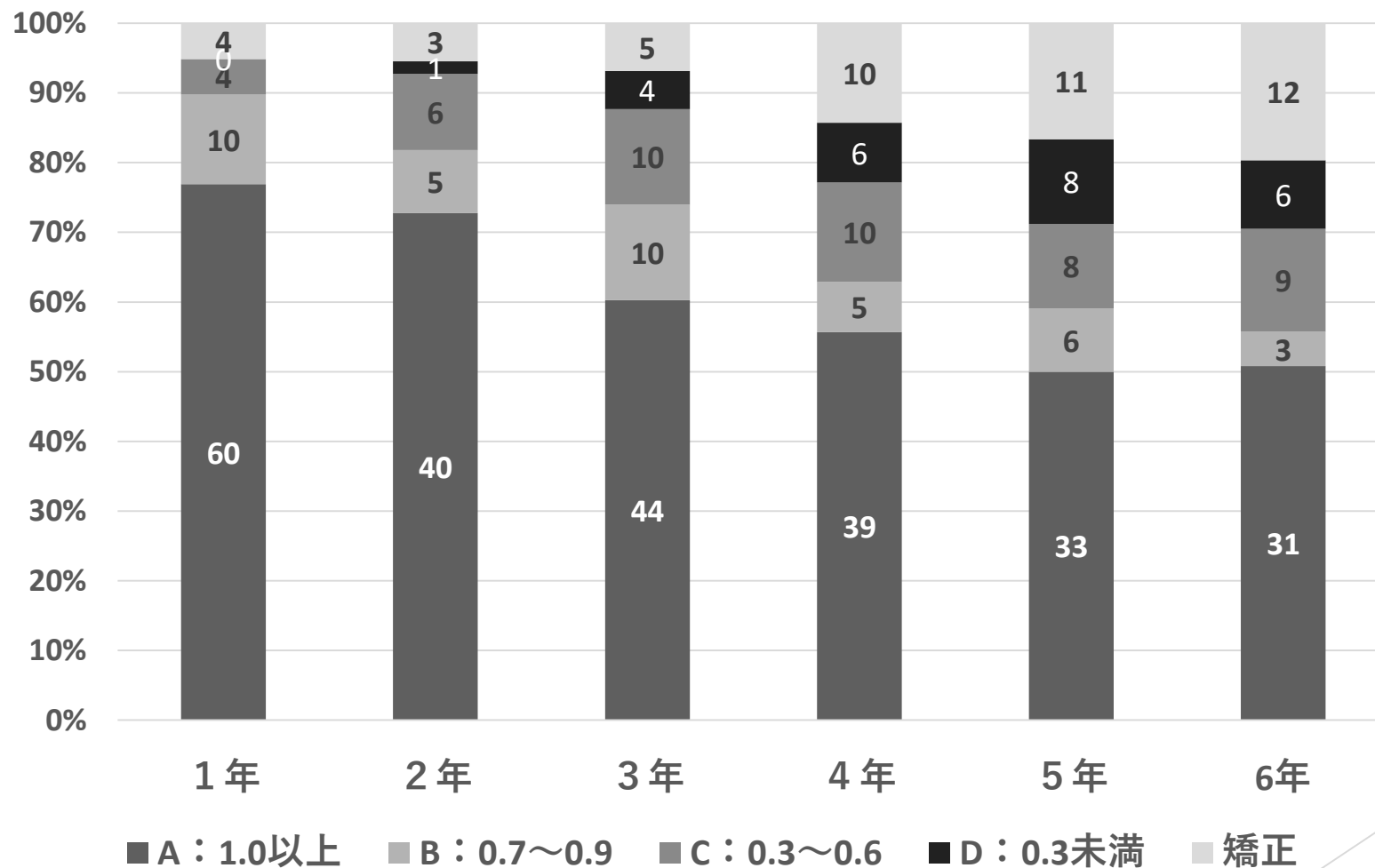


4 眼科検診



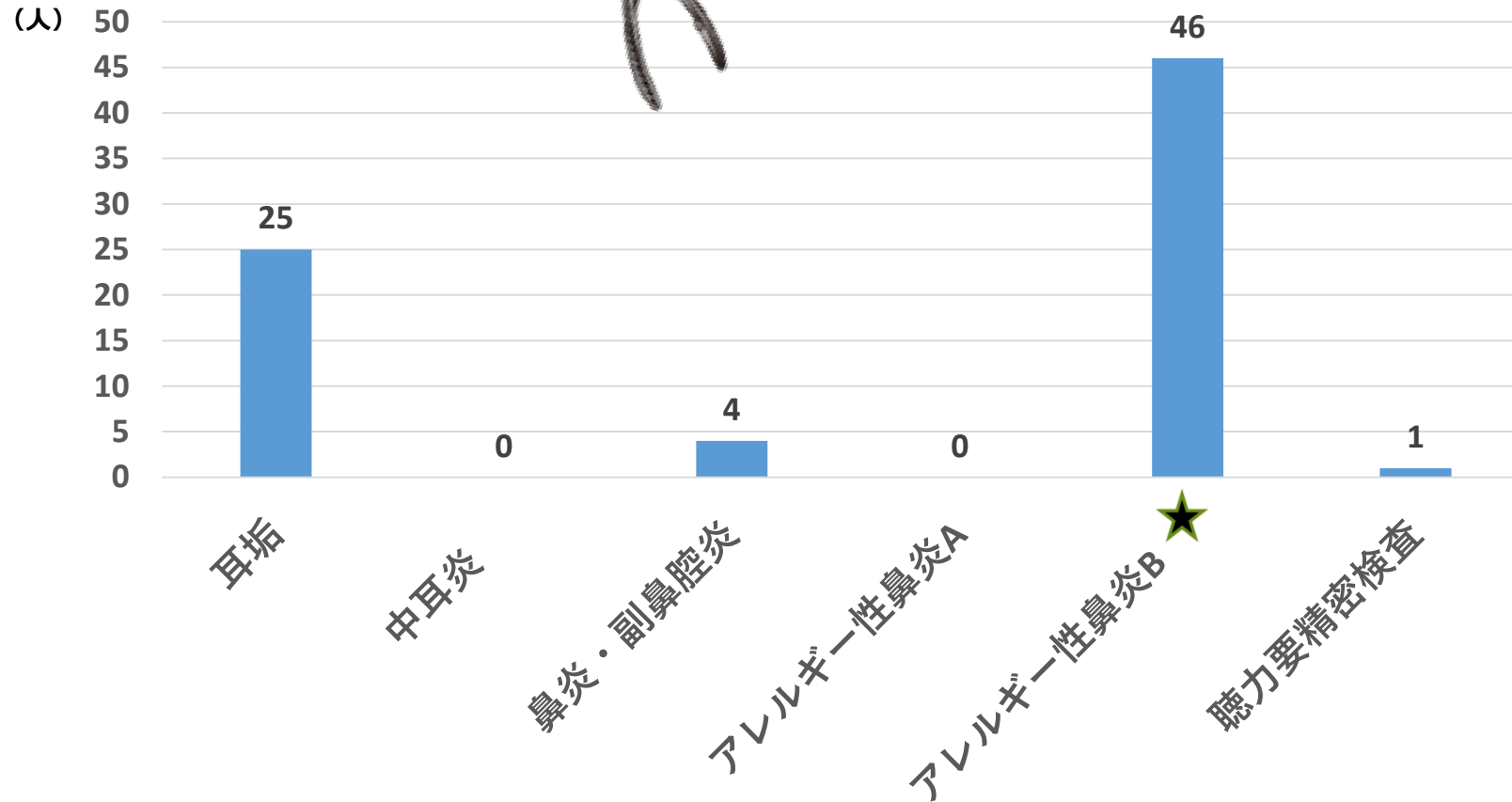
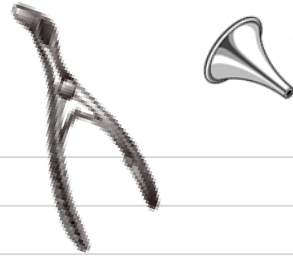
- ▶ ★ アレルギー性結膜炎B(症状悪化時受診) が多い。
- ▶ 眼位異常は、間欠性外斜視がほとんどであった。

5 視力検査



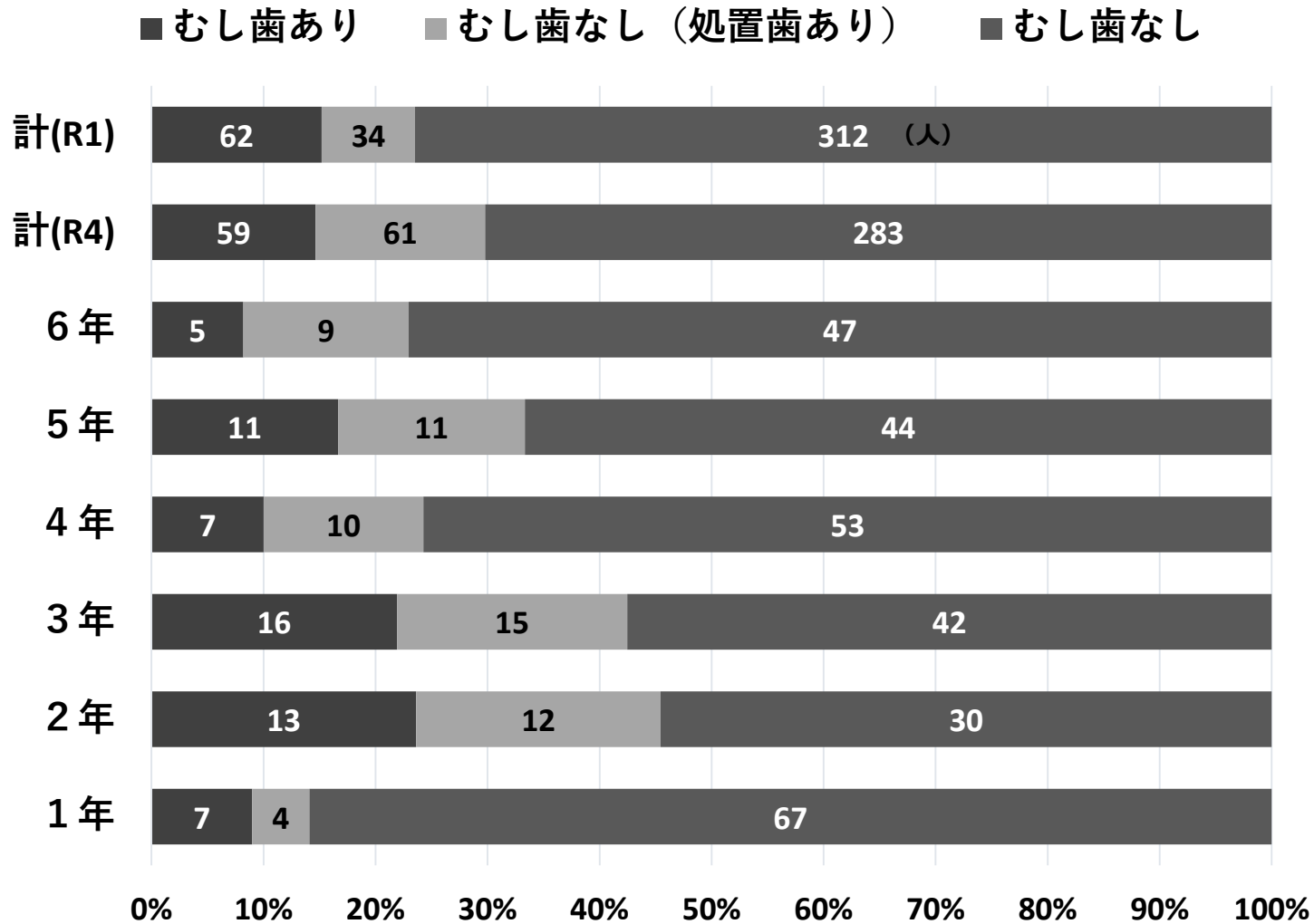
学年が上がると視力が下がる傾向がうかがえる。また、コロナ前と比較すると視力低下がみられる（両眼A(1.0)の子が少なくなっている)

6 耳鼻科検診



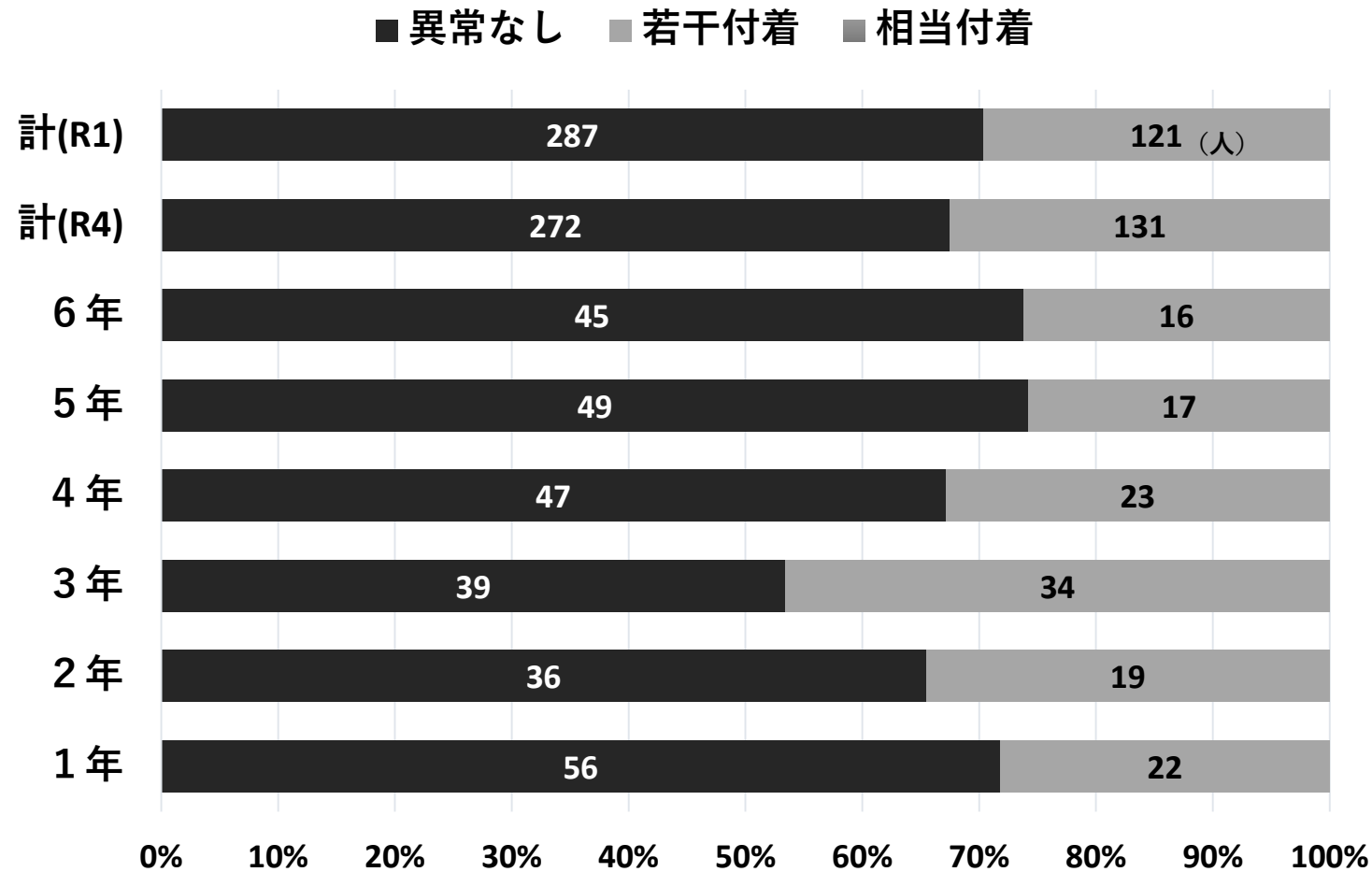
★アレルギー性鼻炎B（症状悪化時受診）が多かった。耳垢のために聴力が低くなったケースがあった。

7 歯科検診・・・1) 乳歯・永久歯のむし歯



1年→6年→4年の順にむし歯なしの割合が高くなっている。
コロナ前と比較するとむし歯が若干増えている。

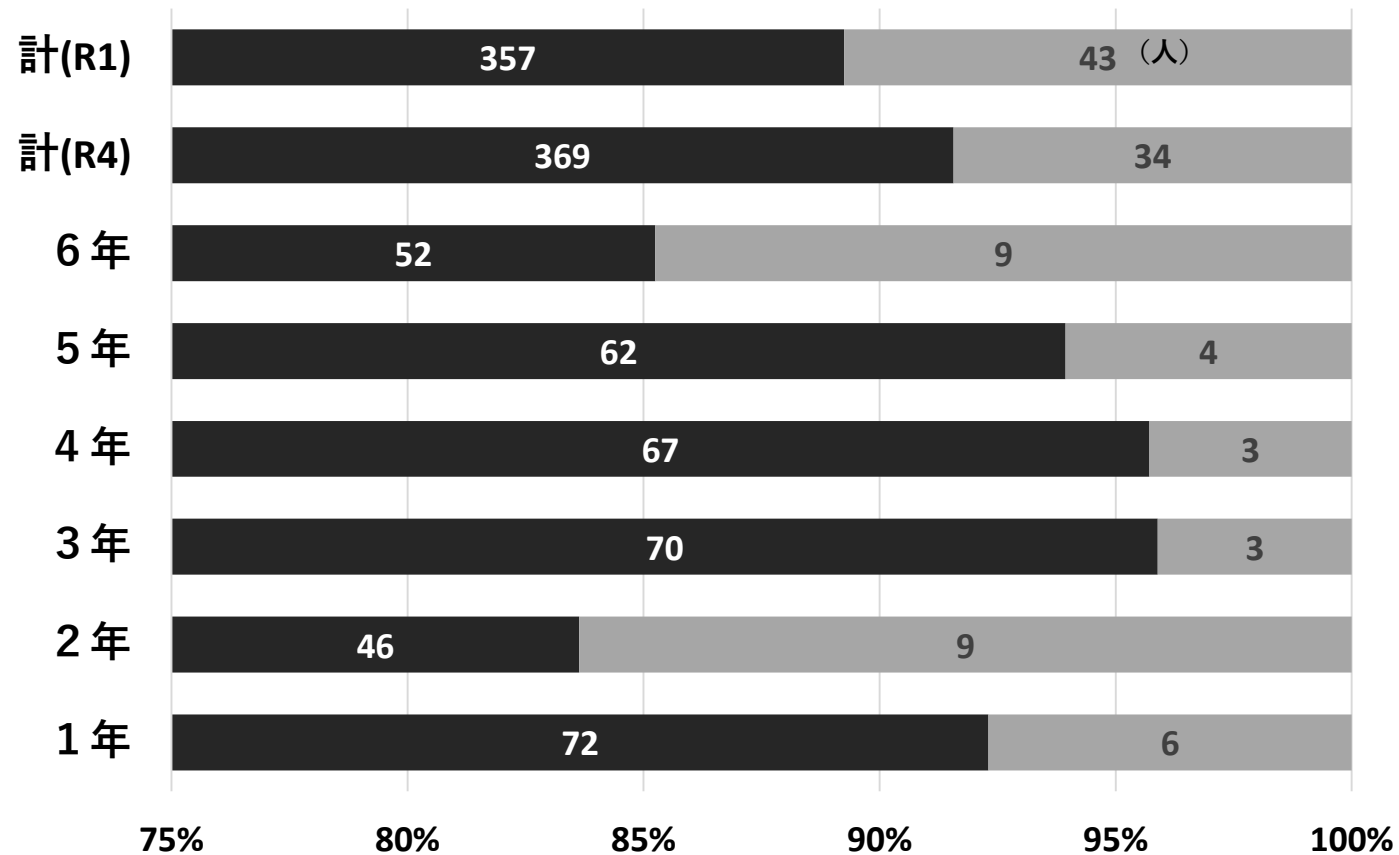
7 歯科検診・・・ 2) 歯垢の状態



相当付着は0。若干付着は、3・4年生が多い。乳歯から永久歯への生え変わりの時期であり、ブラッシングのしにくさの影響が考えられる。全体では、コロナ前と比較すると若干付着がやや増加。

7 歯科検診・・・3) 歯肉の状態

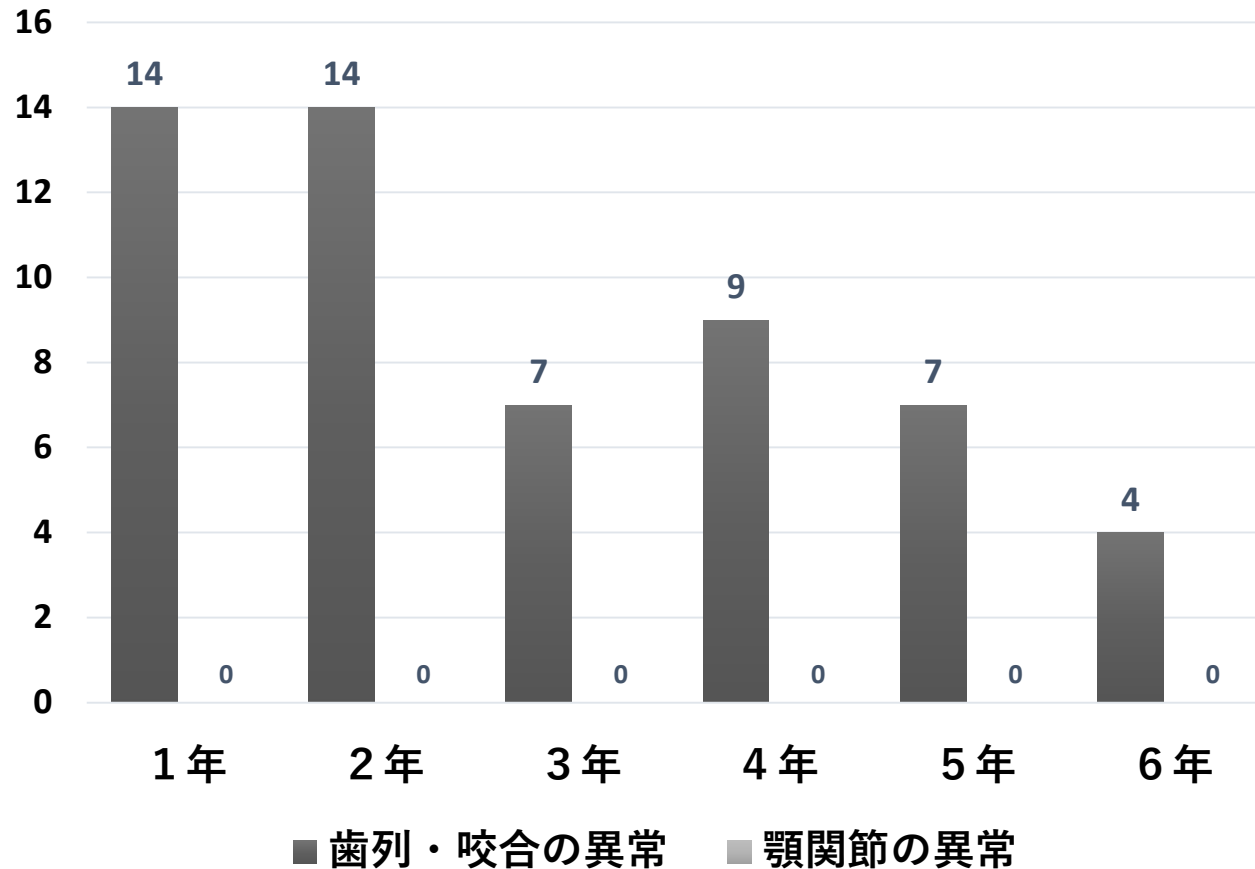
■ 異常なし ■ 歯周疾患要観察 ■ 歯周疾患



歯周疾患0。歯周疾患要観察者は、2年生と6年生の割合が高くなっている。全体では、コロナ前との比較では、増加する傾向は、見られなかった。

7 歯科検診・・・4) 歯列・咬合・顎関節

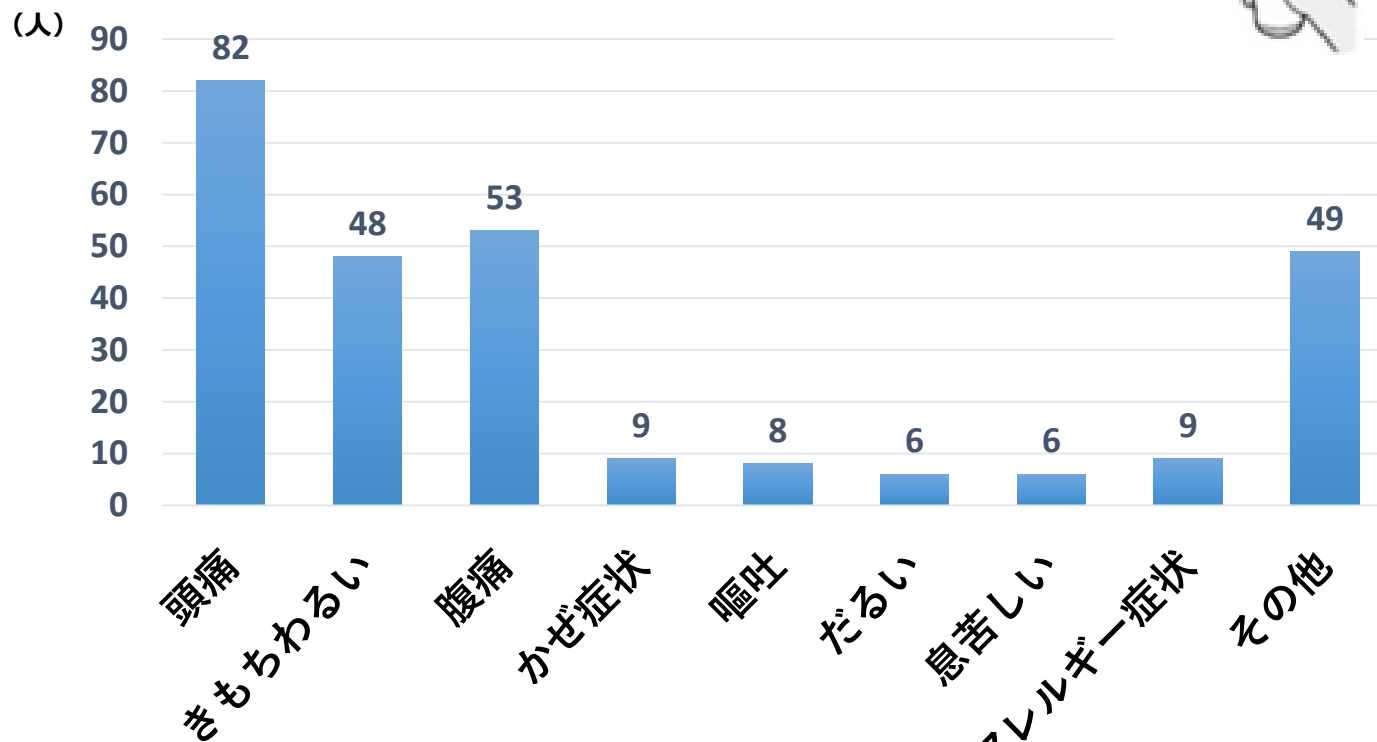
(人)



1・2年で歯列・咬合の異常の指摘が多くなっているが、受診後は、ほとんど経過観察となっている。

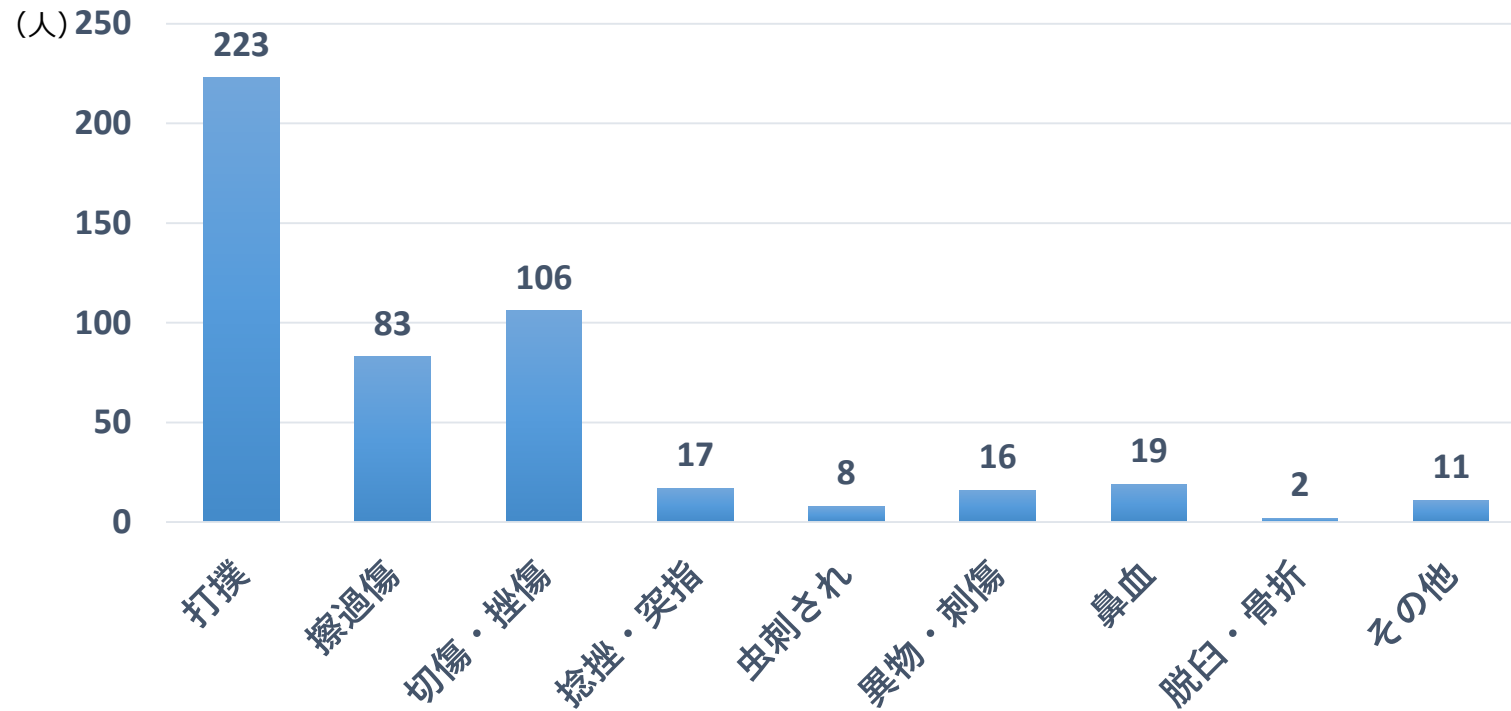
Ⅱ 保健室来室状況 (4月6日～7月20日 総計755人)

1 内科的来室状況



「頭痛」「腹痛」「きもちわるい」が内科的三大症状。感染症疑い（コロナ・かぜ等）・熱中症症状疑い・偏頭痛・心因性など原因は、様々である。

2 外科的来室状況

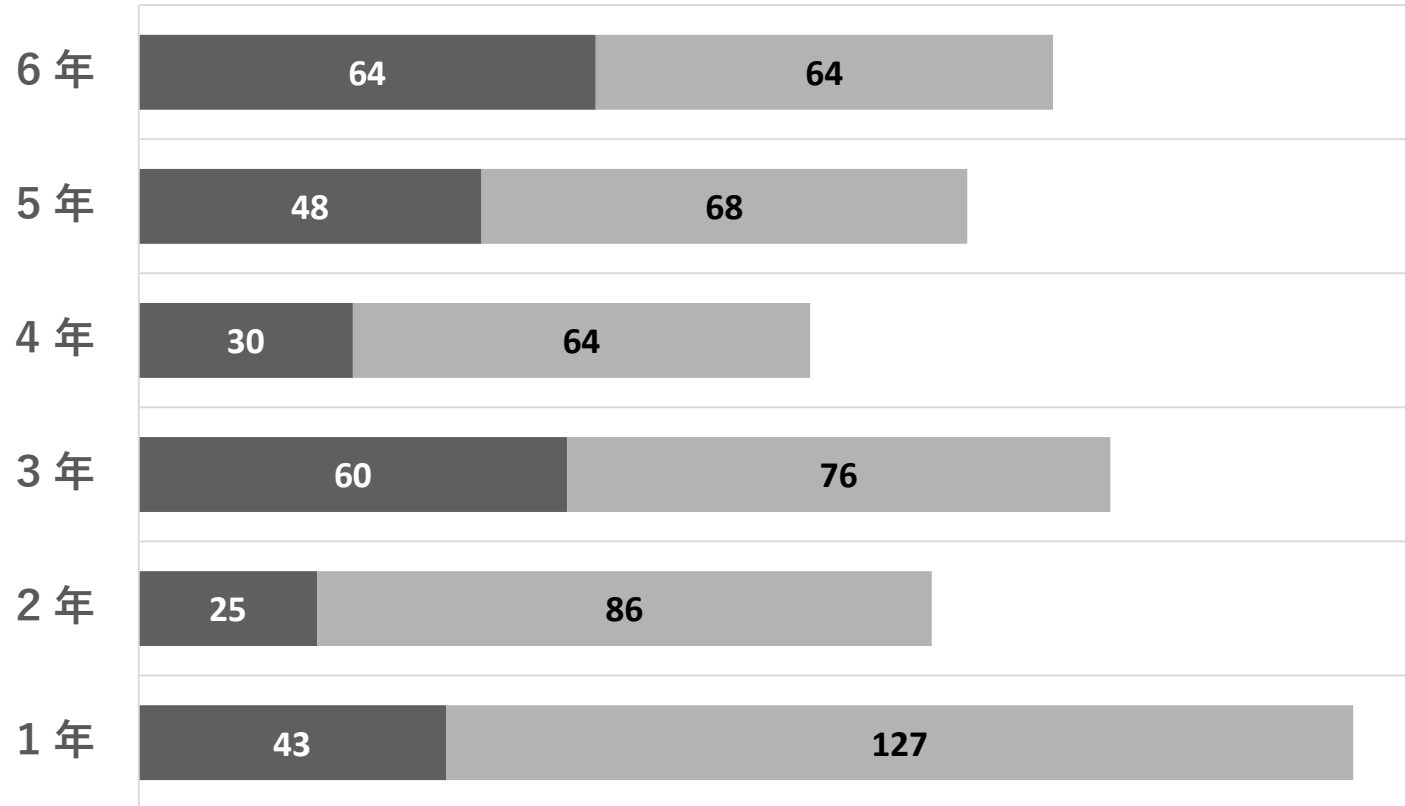


打撲（手足・頭・顔面・歯・口・眼等）・切傷・擦過傷が多い。コロナ感染症予防対策の影響で体を動かす機会が減少したためか医療機関に受診にいたらないちょっとした日常的なけがが多い。

3 学年別来室状況

■ 内科的 ■ 外科的

(人)

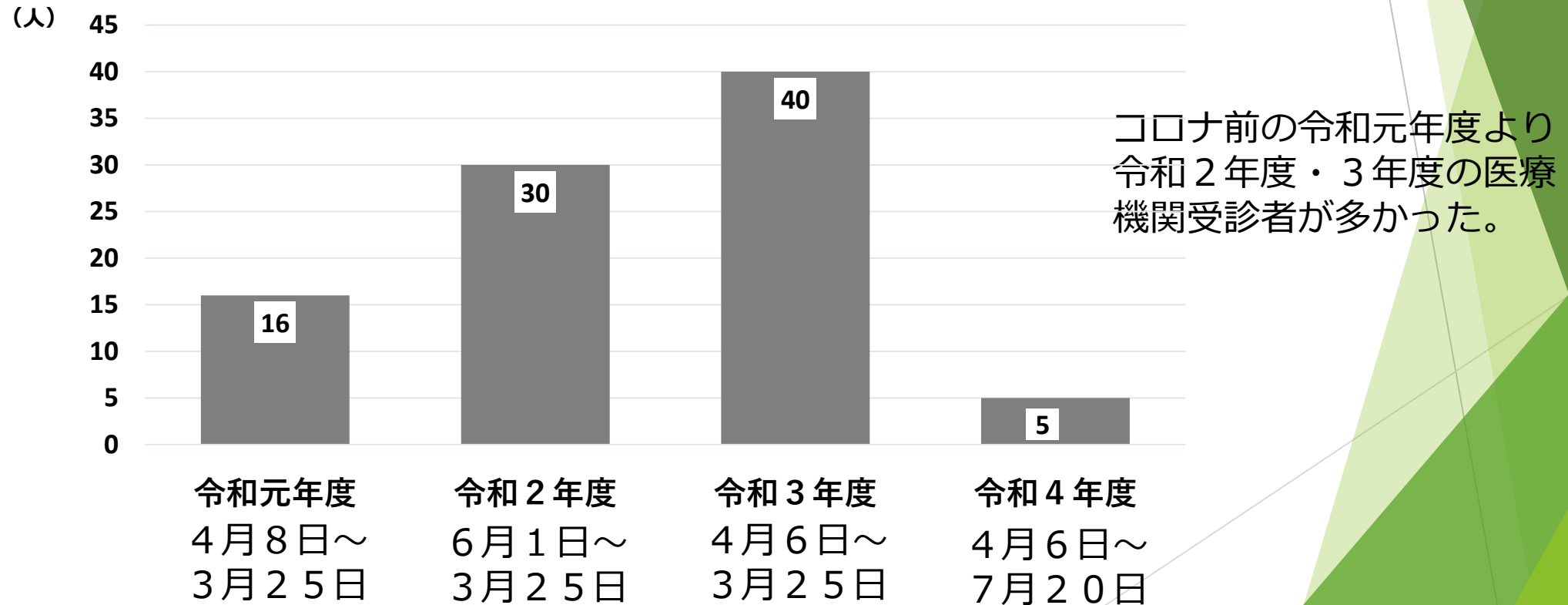


1年、3年、6年という順序で来室者が多かった。

Ⅲ 医療機関受診状況

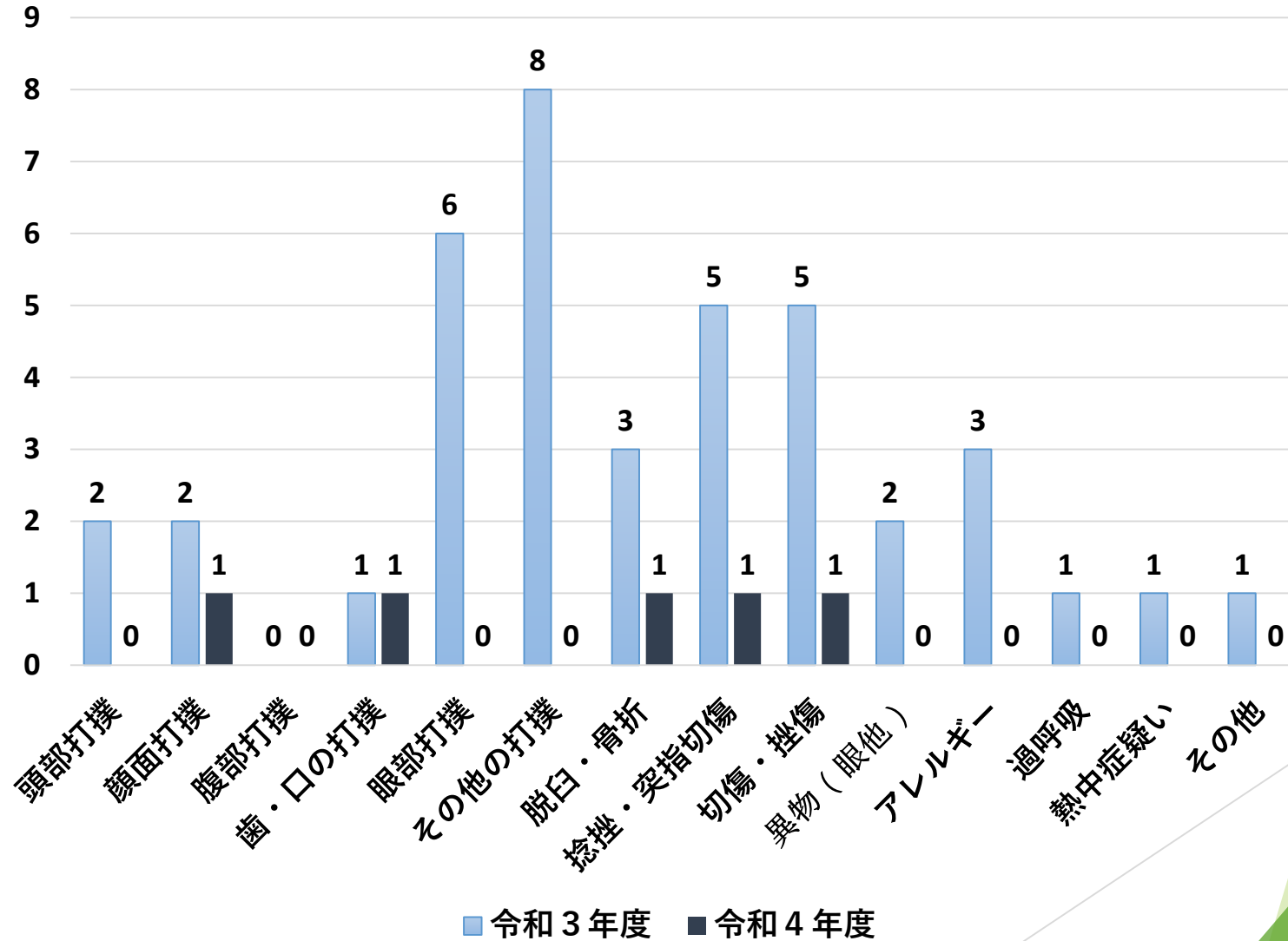
1 医療機関受診者数

年度別医療機関受診者数

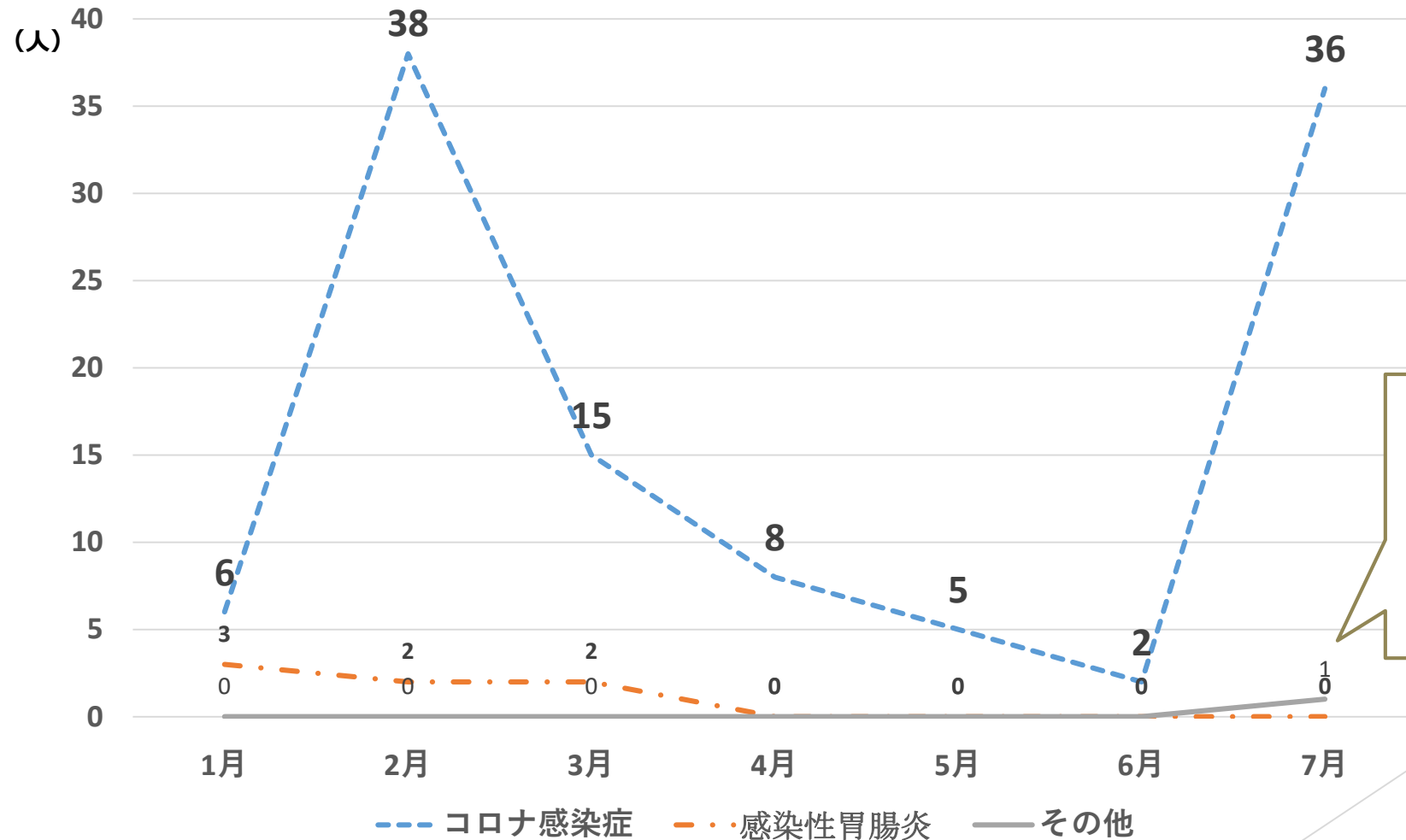


2 令和4年度医療機関受診内訳

(人)



IV 感染症動向 (令和4年1月6日~7月20日)



令和4年7月手足口病
1件発生
(都レベルで警報)

令和2年度以来ほとんどがコロナ感染症。インフルエンザの発生はなし。感染性胃腸炎がポツポツと発生。本校では、令和4年2月のコロナ感染症の発生が多かった。7月の発生もそれを超えそうな勢いであった。2学期の状況が憂慮される。

V 保健室コロナ対応継続中



廊下：けがの手当て



保健室内：体調不良者・受診を要するけが等保護者お迎え待ち

保健室内でも「2mの間隔をとる」「換気」「私語をさける」「ソファ・椅子など使用後はすべて消毒」「共有は避ける」「手当に際して、一人ずつ対応時手袋着用もしくは手洗い、消毒の実施」等コロナ感染症予防対策を実施。熱中症疑い他、場合によってマスクをとって水分補給や経過をみる場合もあるので、保健室待機者が3名以上にならないように、教室での学習継続が難しい場合は、保護者の方に迎えにきてもらうなどの協力をお願いしています。今後も協力のほどよろしくお願いします。